

宮城県感染症発生動向調査情報(第30週)

宮城県【平成25年08月01日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2013.7.22 ~ 7.28 ・ 第30週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	患者数	累計	第27週	第28週	第29週
水痘	4 0.80	13 1.30	3 0.60	5 2.50	5 1.67	4 0.80	1 0.50	12 0.46	47 0.81	2,352	◎ →	◎ →	◎ →	○
流行性耳下腺炎		3 0.30	5 1.00	2 1.00	2 0.67	2 0.40	14 7.00	11 0.42	39 0.67	708	レ →	○ →	レ →	○
百日咳	1 0.20							1 0.04	2 0.03	13	→	→	→	
感染性胃腸炎	8 1.60	14 1.40	11 2.20	12 6.00	18 6.00	7 1.40	1 0.50	81 3.12	152 2.62	11,543	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	34 6.80	39 3.90	13 2.60	8 4.00	3 1.00	3 0.60	1 0.50	101 3.88	202 3.48	745	○ →	○ →	◎ →	◎
伝染性紅斑	1 0.20	4 0.40						6 3.00	8 0.33	384	→	→	→	
突発性発しん	4 0.80	4 0.40	3 0.60	1 0.50	2 0.67	4 0.80		17 0.65	35 0.60	1,090	○ →	○ →	レ →	○
ヘルパンギーナ	16 3.20	37 3.70	8 1.60	15 7.50	9 3.00	2 5.80	2 1.00	76 2.92	192 3.31	683	◎ →	◎ →	◎ →	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱	3 0.60	1 0.10	3 0.60					10 0.38	17 0.29	578	○ →	○ →	レ →	
流行性角結膜炎		2 0.67						2 0.33	4 0.33	103	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8 1.60	19 1.90	2 0.40	1 0.50	8 2.67	40 8.00		23 0.88	101 1.74	3,376	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		2 2.00	3 3.00					6 6.00	5 1.00	16 1.33	593	○ →	レ →	→
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症		3 0.30				7 1.40		10 0.38	20 0.34	322	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	4	8					6	5	16	流行の変化について、今後の情報に十分注意 ※発生または流行について、今後の情報に留意 ※発生が少なくなっている傾向			
川崎病								7	7	7	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
不明発疹症								7	7	7				

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 塩釜管内 男性2名
 - 大崎管内 男性1名
 - 栗原管内 男性1名
 - 石巻管内 男性1名、女性3名
 - 仙台管内 女性1名
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)
 - 仙台管内 女性2名
 - 腸管出血性大腸菌(O157) 栗原管内 女性1名
 - 仙台管内 男性6名、女性2名
 - 腸管出血性大腸菌(O18) 仙南管内 男性1名
- 4類感染症: レジオネラ症
 - 塩釜管内 男性1名
 - 仙台管内 男性2名、女性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名
 - クロイツフェルト・ヤコブ病 石巻管内 男性1名(第29週)
 - 後天性免疫不全症候群 仙台管内 男性1名
 - 梅毒 仙台管内 男性1名
 - 風しん 塩釜管内 男性1名(第29週、検査診断例)
 - 大崎管内 *男児1名(検査診断例)
 - 石巻管内 男性1名(検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【流行性耳下腺炎】 気仙沼管内で警報値を超えた。
- 【手足口病】 仙南管内で警報値を超えた。
- 【伝染性紅斑】 気仙沼管内で警報値を超えた。
- 【ヘルパンギーナ】 栗原管内で警報値を超えた。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】 石巻管内で警報値を超えた。
- 【風しん】 今週あらたに3例の報告があり、2013年の累積報告数は97例となった。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第28週採取分 (7.8～7.14)	第29週採取分 (7.15～7.21)	第30週採取分 (7.22～7.28)
パラインフルエンザウイルス3型	3件	0件	0件
RSウイルス	1件	6件	5件
アデノウイルス	4件	1件	0件
エンテロウイルス	1件	2件	1件
サトウカゴウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ定点
インフルエンザ定
点は、内科定点と
小児科定点を合わ
せたもので、県全
体で93定点です。
宮城県:51定点
仙台市:42定点
合 計:93定点

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群										総数 (人)	
	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)		80歳～ (%)
2013年 第28週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
第29週	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
第30週	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0

【定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第28週)】 (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第18週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(3.53)、宮城県(0.29)、熊本県(0.24)が多い。**RSウイルス感染症:** 報告数は559例と第25週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は減少した。佐賀県(2.52)、北海道(1.53)、沖縄県(1.24)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。福井県(3.45)、大分県(3.14)、山形県(2.43)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。大分県(9.50)、宮城県(7.67)、愛媛県(6.65)が多い。**水痘:** 定点当たり報告数は増加した。大分県(1.94)、和歌山県(1.48)、埼玉県(1.33)が多い。**手足口病:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。大分県(19.92)、山口県(17.15)、埼玉県(13.90)が多い。**伝染性紅斑:** 定点当たり報告数は2週連続で増加した。富山県(1.03)、愛知県(0.49)、新潟県(0.36)が多い。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は第19週以降増加が続いている。高知県(6.87)、熊本県(6.20)、徳島県(6.09)が多い。**流行性耳下腺炎:** 定点当たり報告数は2週連続で増加した。福井県(1.59)、山形県(0.83)、岩手県(0.73)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は第25週以降減少が続いている。青森県(2.50)、宮城県(1.58)、沖縄県(1.29)が多い。